

wish

前橋市手をつなぐ育成会報

●●● ウィッシュ

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>

メールアドレス info@m-teotunagu.moo.jp

携帯TEL 080-7744-4300



○発行所/前橋市手をつなぐ育成会 前橋市東上野町 459-1 前橋市立前橋特別支援学校内 ○発行人/塩崎政江 ○印刷所/マルエー印刷

✿ 手をつなぐ作品展 全公民館+市役所1階で開催!! ✿

「手をつなぐ作品展」は、令和2年9月2日、下川淵公民館で始まりました。3年目の今年度、初めて市内全地域で開催することができました。前橋市社会福祉協議会、一般社団法人みんなの店、開催する公民館の共催、前橋市(障害福祉課)、前橋市教育委員会(生涯学習課)、民生委員児童委員連絡協議会の協力の元で進めてきました。今年度は生涯学習課にも共催になっていただき、市内全公民館及び市役所での開催が実現できました。



福祉パレード時期に開催した市役所1階ロビー

年々、各公民館での開催が様々な工夫をこらした楽しい企画になっています。地域の幼稚園や小・中学生の絵画・習字・標語などの展示や、公民館サークルの方の美術・書道・手芸作品などの展示と合同開催した公民館も多く、前橋特別支援学校、若葉高等学園の作品展示をした公民館もあります。また、地域にある障害者福祉施設の展示コーナーを設けてくださった公民館もあり、各作業所の他、あ



「あかぎの響」も参加した富士見公民館



前橋特別支援学校も参加した桂萱公民館

かぎの響、三山黎明会、アシスト前橋、こがね荘、菜の花、ゆずりは、などの作品が一緒に展示されました。

また、今年度は手をつなぐ育成会県大会の前橋会場や福祉パレード記念集会などの事業に合わせて、市役所一階ロビー

で展示をするなど、他の事業と併せて開催することで、たくさんの市民の方々にご覧いただくことができました。関係の皆様にご心より感謝申し上げます。来年度も、みなさんの地域に伺います。周りの方にお声かけください。



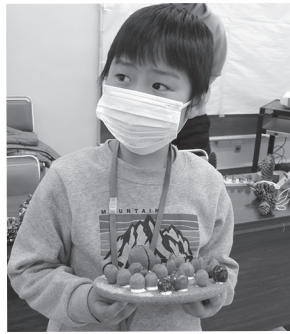
初開催の城南公民館

ゆうあいサークル



12月11日（日）9家族21名 スタッフ8名 講師1名が集まって、たくさんの種類の木の実や枝、葉などをグルーガンで接着して、大きなリースや置物、飾りなどを創りました。今年はすごく高度な作品が多く製作され、お互いに感激しながら見ていました。

午後は野外でのレクゲーム、小春日和の国立赤城青少年交流の家周辺は暖かく、外で紙飛行機を飛ばしたり、しっぽ取りゲームをしたりして楽しみました。ゲームで優勝したチームには豪華景品も！！



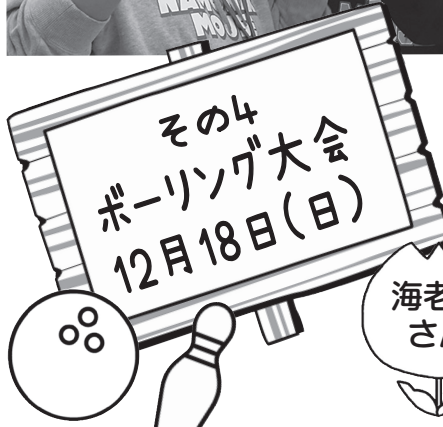
八木さん 親子トトロを作りました。クリスマスリースもできました。

井上さん もうすぐお正月、かわいく女の子っぽく作りました。

奥谷さん クラフトは苦手だったけど、グルーガンを使わせてもらったので楽しく作ることができました。

土田さん お母さんとおじいちゃんへプレゼントを作れてうれしい

指導者の小柏哲也先生 みんなすばらしい作品ばかりだね！



9家族22名の参加で、盛り上がったボーリング大会でした。協力員の小澤幸信さんがたくさんの景品を用意してくださり、「やったー！」と歓声が上がりました。

海老澤さん 初めて親子でボーリングをして、子供達の楽しい笑顔がいっぱいの楽しいひとときでした。

笠原さん 久しぶりのボーリングだったけど、みんなの助けをかりてとても楽しめました。





「きよさと焼を作って食べよう！」
「天然木で自分だけのプレートを作ろう！」

清里公民館・清里地区まちづくり協議会とのコラボ事業
2月5日（日）場所は清里公民館
5家族12名 スタッフ9名 高校生ボランティア1名
清里地区まちづくり協議会 食育部会5名
花いっぱい運動部会3名 清里公民館2名

「きよさと焼」って知っていますか？

清里地区特産の枝豆と玉ねぎを入れたお好み焼き風の「おやき」です。特産の枝豆はとってもおいしい大きな枝豆です。材料は食育部会の方が用意してくださいました。ホットプレートに油を引き豚肉を入れ塩をふります。材料を混ぜた生地を豚肉の上に乗せて両面を焼きます。

「食育部会」の関口部会長さんが「親御さんは見ていっただけで手を出さないようにしましょう。お子さんが自分の力でできた達成感を味わわせましょう。」とおっしゃったので、参加者それぞれが一人でひっくり返したり鰹節をかけたりしました。「やったー！」「できた！」と歓声と拍手。熱いほかほかのきよさと焼を、その場でいただきました。

「花いっぱい運動部会」の方が、木を切ってヤスリで平らにしてくださいましたプレート（板）と、きれいな木の実や色を付けた草の実などを用意してくださいました。

自分の好きな形のプレートを選び、文字を書いて紐を付けて周りを飾ります。

みんな思い思いのプレートができました。お父さんお母さんもそれぞれが楽しんで作っていました。櫻井部会長さんは、「こちらが思いもしないほどの発想力で、素晴らしい作品ができました。嬉しそうに作品を見せてくれる姿に涙が出ました。」と喜んでくださいました。

笹本館長さんは「これをきっかけに、来年度も手をつなぐ育成会さんと一緒にやりたいですね。清里地区の『オープンガーデン』もぜひご覧いただきたいです。」と。

お土産に、「きよさと焼」の材料をいただいて、「おうちでまた作ろう。」と、参加者それぞれがはりきって帰りました。清里公民館の皆さん、清里地区まちづくり協議会の皆さん、大変お世話になりました。



きよさと焼を作って食べよう！



天然木で自分だけのプレートを作ろう！



令和4年度 家族教室

第2回目は「障害基礎年金についてご存じですか？」

12月13日（火） 会場参加6名 事務局9名 オンライン参加11名

全国手をつなぐ育成会連合会が作成した障害基礎年金についてのビデオを視聴して、意見交換を行いました。

小学生の保護者は、「まだ先のことと置いていたけれど、今から準備しておかないと大変だということを実感した。」高校生の保護者は、「昔よりも今の方が障害年金が厳しくなっている。困っていることをしっかり伝えることが大事。」実際に去年受給手続きをした方は「思っていた以上に大変な作業。でもここでしっかりと書いて医師にも伝えないと障害者年金の1級にはなれない。」など、切実な意見のやりとりがありました。

この「障害基礎年金」についてのビデオは、前橋市手をつなぐ育成会が持っています。いつでも声をかけていただければ、学校や保護者のグループ、施設に行って研修会を開くことができます。人数が少なくても大丈夫です。遠慮なく事務局に申し出てください。



第3回目は「地域で暮らし続けるために」（先進地域の取組に学ぶ）

1月17日（火） 会場参加5名 事務局8名 講師1名 オンライン参加5名

冒頭、前橋市障害福祉課 基幹相談支援センター所長 一木富子氏に「前橋市地域生活支援拠点事業『安心ネットまえばし』」の紹介をいただきました。

地域生活支援拠点とは、障害のある方の高齢化・重度化や、いわゆる「親なき後」の生活を見据え、本人の生活を地域全体で支えようとする仕組みです。前橋市では「安心ネット前橋」という名前で整備されました。障害のある方が住み慣れた前橋で安心して自立していくために、様々な障害福祉サービス事業者が連携しながら、その機能を果たす仕組みとなっています。まだまだ始まったばかりで、担当している自立支援協議会の部会を中心に、より使いやすい仕組みにしようとして試行錯誤を繰り返している状況です。ぜひ実際に皆さんにご利用いただき、ご意見・ご要望をいただきながら、24時間365日安心して暮らしていくための大切な資源となるようにしていきたいとの思いをお伝えくださいました。

次に、手をつなぐ育成会関東甲信越大会（長野大会）の鼎談「西駒郷地区の地域生活移行を振り返って」と、グループホームの現状と課題として荒井隆一氏の「親なきあとを考える講演会」のビデオ記録を観ました。

時間が短い中でしたが、参加者からは「グループホームを考えているがどう選んだらよいのかと悩んでいた。しかし本人の考えを大事にすることが必要だと知った。」という意見がありました。実際に父親が救急車で運ばれ、そんな時に障害のある子供をどうしたらよいかと悩まれたケースも出され、緊急時に対応してもらえる体制が急務であると感じました。実際にグループホームに入所している本人も参加してくださり、有意義な研修会となりました。



来年度も会員募集します。

会員になって、親子で楽しいイベントに参加しましょう。家族教室で有意義な学びの機会を得たり、おしゃべり交流会で先輩の体験談などを聞いたり相談したりしましょう。

お近くの方に声をかけて、一人でも多くの方に会員になっていただきましょう。

現在の会員数は、1035名です。そのうち、学校の先生や施設の職員の方など、支援をしてくださる方が約半数です。皆様のご協力により様々な事業を進めています。今後もよろしくお願ひします。

新しい協力員の紹介（令和5年2月から）

大胡地区にお住まいの 井上智恵美さん です。